

むし歯の疑い

と言われたら

今、痛くなくても
歯医者さんへの

受診をおすすめします

Q 「むし歯」と「むし歯の疑い」はどうちがうの？

A 歯科健診ではむし歯がないかどうかを調べますが、レントゲンがない状態ではむし歯の大きさがわからなかったり、隠れたむし歯を見つけることができません。そのため、穴が開いている場合は「むし歯」ですが、穴が開いていなくてもむし歯である可能性がある場合に「むし歯の疑い」としてお知らせするようにしています。



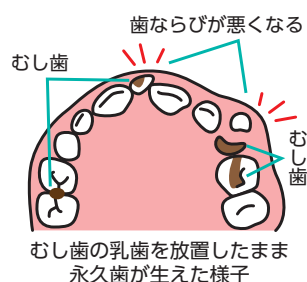
Q むし歯はどうやってできるの？

A むし歯は、歯についている歯垢の中にすむミュータンス菌が出す「酸」によって歯が溶ける病気です。「酸」は、ミュータンス菌が砂糖などの糖분을えさにして分解する際に作られます。「甘い物のダラダラ食べ」は、口の中に「酸」を長い時間とどまらせることになりむし歯になりやすくなります。



Q むし歯をそのままにしておくとどうなるの？

A むし歯には多くのミュータンス菌がすみついているので、そのままにしておくと隣の歯もむし歯になりやすくなります。また、歯が溶け出してくると、隣の歯が傾いてきたり、うまくかめなくなったりします。歯ならびや咬み合わせにもよくない影響がでできます。



おうちの方へ



歯と口は、単に「食べる」だけではなく、「表情を作る」「話す」「運動の際に身体を支えバランスをとる」といった大切な役割がたくさんあります。最近の研究では、「こころ」と「からだ」の健康にも関係していることが明らかになってきています。むし歯や歯肉炎のところにチェックがついていたら、今は痛くなくても歯科医院を受診することをおすすめします。